



2022年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年5月2日

上場会社名 株式会社 セキド
コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭

TEL 03-6300-6335

定時株主総会開催予定日 2022年6月17日 配当支払開始予定日

2022年6月20日

有価証券報告書提出予定日 2022年6月17日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年3月21日～2022年3月20日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	7,731		271		224		485	
2021年3月期								

(注) 包括利益 2022年3月期 489百万円 (%) 2021年3月期 百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	239.68	166.35	47.6	5.3	3.5
2021年3月期					

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 百万円 2021年3月期 百万円

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値及び対前期増減率については記載していません。また、自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は連結初年度のため、それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	4,271	1,025	23.9	501.09
2021年3月期				

(参考) 自己資本 2022年3月期 965百万円 2021年3月期 百万円

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値は記載していません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	374	177	442	724
2021年3月期				

(注) 2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2021年3月期の数値は記載していません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期		0.00		0.00	0.00			
2022年3月期		0.00		50.00	50.00	101	20.9	10.0
2023年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		12.7	

(注) 2022年3月期期末配当金の内訳 普通配当 10円00銭 特別配当 40円00銭

2022年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期の純資産配当率(連結)は、連結初年度のため2022年3月期の1株当たり純資産に基づいて計算しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年3月21日～2023年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,855		122		100		65		31.93
通期	8,100	4.8	296	9.0	250	11.3	160	67.1	78.61

(注)2022年3月期第3四半期より連結財務諸表を作成しているため、第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) MEDIHEAL JAPAN株式会社、除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数

2022年3月期	2,038,928 株	2021年3月期	2,018,928 株
2022年3月期	3,506 株	2021年3月期	3,410 株
2022年3月期	2,026,012 株	2021年3月期	1,917,718 株

(参考)個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績(2021年3月21日～2022年3月20日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	7,377	8.9	187	3.8	144	10.8	445	279.8
2021年3月期	6,773	2.3	180		130		117	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	220.05	152.73
2021年3月期	61.20	58.93

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	3,964	971	24.4	474.42
2021年3月期	3,598	510	14.1	251.00

(参考) 自己資本 2022年3月期 965百万円 2021年3月期 505百万円

2. 2023年3月期の個別業績予想(2022年3月21日～2023年3月20日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,545	30.5	7	95.5	16		17		8.35
通期	5,500	25.4	70	62.7	23	84.1	20	95.5	9.83

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕4ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
4. その他	15

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社が判断したものであります。
 なお、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前事業年度との比較分析は行っておりません。

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、コロナ禍の出口戦略を模索する動きが明確になってきた一方で、東欧地域での武力紛争の勃発が、世界的な危機感と不透明感を拡大させる中、総じて厳しい状況で推移いたしました。

このような環境下、当社は、主力の美容事業とファッション事業を中心に、コロナ禍においても確実に計画を達成するため、以下の課題に取り組んでまいりました。

ファッション事業においては、コロナ禍による客数減を踏まえ、顧客とのコミュニケーションに注力し、好調なラグジュアリーブランドや高級時計、宝飾品などの品揃えを充実させ、客単価を高めることで売上高の確保に努めました。また、広域商圈型ショッピングセンターでの催事開催を積極的に実施するとともに、「MEDIHEAL」を中心とした韓国コスメを取り扱う新業態店舗「&choa!」の展開を開始し、2021年10月以降、5つのショッピングセンターに新規店舗の出店を行っております。

美容事業においては、主力ブランドである「MEDIHEAL」の日本総代理店として、順調に売上を伸ばしております。販売店での競争力強化策として、新商品の投入、販促物や専用什器製作などによるブランディング戦略に取り組んだほか、公式ECサイトを2021年7月に立上げ、サブスクリプションモデルと顧客管理システムの導入により、さらなる事業展開を図っております。

なお、賃貸部門において、一部賃貸契約満了に伴い、当該自社所有土地の売却を行い、固定資産売却益222百万円を計上しております。

また、繰延税金資産86百万円を計上しております。

これらの結果、当連結会計年度の連結業績は、売上高が7,731百万円、営業利益は271百万円、経常利益は224百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は485百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ファッション事業]

ファッション事業においては、コロナ禍での営業活動が2年目となる中、感染予防対策を行い、安心してお買い物を楽しんでいただける店舗運営に努めてまいりました。また、広域商圈型ショッピングセンターでの催事にも積極的に取り組み、取扱商品については、中・高価格帯商品の品揃えに注力し、客数減をカバーいたしました。また、スマホ・アプリの活用により、引続きコストを抑えた販促強化に取り組んでおります。

店舗展開においては、「MEDIHEAL」を中心とした韓国コスメを取り扱う新業態店舗「&choa!」の展開を開始し、2021年10月以降、5つのショッピングセンターに新規店舗の出店を行っております。これらの結果、売上高は5,118百万円、セグメント利益は88百万円となりました。

[美容事業]

美容事業においては、お取引先の支援の下、事業拡大に伴う増加運転資金の調達により在庫の確保を進め、売上高の拡大に努めてまいりました。また、2021年7月20日に公式ECサイトを立上げ、サブスクリプションモデル（定期購入メニュー）と顧客管理システムの活用による売上高の拡大に努めております。販促面では、小売店向けにイメージを統一した販促物の導入や「MEDIHEAL」専用什器の設置によるブランディング戦略を展開しております。これらの結果、売上高は2,433百万円、セグメント利益は462百万円となりました。

[賃貸部門]

賃貸部門においては、売上高は44百万円、セグメント利益は32百万円となりました。

[その他]

その他の部門では、感染防止関連機器等の受注が堅調に推移し、売上高は178百万円、セグメント利益は14百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の資産は、総資産4,271百万円となりました。

流動資産は3,213百万円となり、主な内訳は、商品1,526百万円、売掛金772百万円であります。固定資産は1,058百万円となり、主な内訳は、土地429百万円、差入保証金310百万円であります。

(負債)

当連結会計年度末の負債は3,245百万円となりました。

流動負債は2,952百万円となり、主な内訳は、短期借入金1,791百万円、支払手形及び買掛金827百万円であり、固定負債は293百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は1,025百万円となりました。主な内訳は、資本剰余金453百万円、利益剰余金485百万円です。

これらの結果、自己資本比率は23.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は724百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果使用した資金は374百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産売却益222百万円の計上を含め、税金等調整前当期純利益446百万円を計上いたしましたが、好調な美容事業での在庫確保などによりたな卸資産が404百万円増加したこと、たな卸資産の増加等により消費税等（未払又は未収消費税等）115百万円の支出増であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果獲得した資金は177百万円となりました。主な内訳は、新規出店などの設備投資で有形固定資産の取得による支出78百万円、差入保証金の差入による支出53百万円、システム投資による無形固定資産の取得による支出19百万円などがありましたが、所有する土地の売却で有形固定資産の売却による収入340百万円を計上できたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果獲得した資金は442百万円となりました。主な内訳は美容事業の増加運転資金調達などで短期借入金381百万円の増加と新規出店などによるセール・アンド・割賦バックによる収入56百万円です。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期
自己資本比率 (%)	—	—	—	—	23.9
時価ベースの 自己資本比率 (%)	—	—	—	—	50.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：(純資産合計－新株予約権)／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

※ 当社は、2021年3月期まで連結財務諸表を作成していないため、2018年3月期、2019年3月期、2020年3月期及び2021年3月期の各指標を記載しておりません。

※ 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※ 有利子負債は、貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としておりません。

※ 営業キャッシュ・フロー及び利払いは、キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「利息の支払額」を用いております。

なお、2022年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率、インタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、コロナ禍は生活様式の変化と対応により、徐々に終息に向かうことが期待されます。一方、緊迫する世界情勢の影響から、エネルギー価格の上昇や物流への影響など、世界経済は先行き不透明感が拭えない状況にあります。

このような環境下、当社は、2つの主力事業を中心に、業績の安定的拡大に努めてまいります。

コスメティック事業（美容事業）

2023年3月期においては、店舗数の多いコンビニエンスストアや美容室、エステ・ネイルサロン等での取扱数の増強を図ってまいります。PR活動としては、コンビニエンスストアでの取り扱いを拡げることで認知度アップに繋げるとともに、ライブ配信・SNS企画など、ファン参加型企画によるユーザーとの交流を増やしてまいります。

新製品については、高保湿成分「ハイドロディーパー」を配合した新製品の国内発売を順次予定しております。また、同成分を配合した新たなターゲット層を狙うエイジングケア製品も日本オリジナルで企画・開発を進めております。

コスメティック事業では、MEDIHEAL公式ECサイトでの売上を含め、売上高は2,600百万円を見込んでおります。

店舗運営事業（ファッション事業）

店舗販売部門においては、2021年10月から韓国コスメの新業態店舗『&choa!』を5店舗出店し、新しい商圈と顧客の獲得に乗り出し、一定の成果を上げることができました。今後も機動的に店舗展開を進めてゆく方針であり、2022年4月に1店舗、5月以降も、順次、追加出店し、2023年3月期については10店舗以上の出店を目指しております。

催事部門では、前期中に50回以上の開催を行いました。今後においても、多くのショッピングセンターから開催要望を頂いておりますので、積極的に実施してまいります。

ネット通販部門においては、「内製化」と「本店サイトの決済手段の多様化」をリニューアルのポイントとし、お客様の利便性を向上させてまいります。また、SNS媒体などへの露出によりアクセス数の増加を図り、売上高を拡大してまいります。

店舗販売、催事、ネット通販を合わせ、店舗運営事業では、売上高は5,282百万円を見込んでおります。

これらにより、賃貸部門、外商部門を加えた2023年3月期の全社の売上高は8,100百万円、営業利益は296百万円、経常利益は250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は160百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の他社比較分析等を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際会計基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	当連結会計年度 (2022年3月20日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	724,470
売掛金	772,492
商品	1,526,264
預け金	118,700
その他	98,253
貸倒引当金	△26,973
流動資産合計	3,213,207
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物（純額）	83,972
土地	429,273
その他	19,892
有形固定資産合計	533,138
無形固定資産	
ソフトウェア	27,078
無形固定資産合計	27,078
投資その他の資産	
投資有価証券	91,188
差入保証金	310,601
繰延税金資産	86,651
その他	9,540
投資その他の資産合計	497,981
固定資産合計	1,058,197
資産合計	4,271,405

(単位：千円)

当連結会計年度 (2022年3月20日)	
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	827,412
短期借入金	1,791,360
1年内返済予定の長期借入金	10,401
リース債務	5,176
未払金	198,347
未払法人税等	48,500
その他	71,234
流動負債合計	2,952,432
固定負債	
長期借入金	4,992
リース債務	5,828
役員退職慰労引当金	109,800
退職給付に係る負債	89,002
資産除去債務	3,288
その他	80,329
固定負債合計	293,240
負債合計	3,245,673
純資産の部	
株主資本	
資本金	59,178
資本剰余金	453,576
利益剰余金	485,601
自己株式	△5,003
株主資本合計	993,351
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	12,077
退職給付に係る調整累計額	14,501
その他の包括利益累計額合計	26,578
新株予約権	5,801
純資産合計	1,025,732
負債純資産合計	4,271,405

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
売上高	7,731,914
売上原価	5,760,361
売上総利益	1,971,552
販売費及び一般管理費	1,699,903
営業利益	271,649
営業外収益	
受取利息	271
受取配当金	1,737
助成金収入	3,949
その他	691
営業外収益合計	6,649
営業外費用	
支払利息	41,204
株式交付費	4,232
為替差損	5,724
その他	2,530
営業外費用合計	53,693
経常利益	224,605
特別利益	
固定資産売却益	222,110
特別利益合計	222,110
税金等調整前当期純利益	446,715
法人税、住民税及び事業税	48,467
法人税等調整額	△87,353
法人税等合計	△38,885
当期純利益	485,601
親会社株主に帰属する当期純利益	485,601

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
当期純利益	485,601
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△4,284
退職給付に係る調整額	8,079
その他の包括利益合計	3,794
包括利益	489,395
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	489,395

(3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,154,345	774,116	△3,434,064	△4,858	489,539
当期変動額					
減資	△3,104,345	3,104,345			
欠損填補		△3,434,064	3,434,064		—
親会社株主に帰属する 当期純利益			485,601		485,601
新株予約権の発行					
新株予約権の行使	9,178	9,178			18,356
自己株式の取得				△145	△145
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	△3,095,167	△320,540	3,919,665	△145	503,812
当期末残高	59,178	453,576	485,601	△5,003	993,351

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	退職給付に係る調整 累計額	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	16,361	6,422	22,784	4,300	516,624
当期変動額					
減資					
欠損填補					—
親会社株主に帰属する 当期純利益					485,601
新株予約権の発行				1,611	1,611
新株予約権の行使				△110	18,246
自己株式の取得					△145
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△4,284	8,079	3,794		3,794
当期変動額合計	△4,284	8,079	3,794	1,501	509,108
当期末残高	12,077	14,501	26,578	5,801	1,025,732

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	446,715
減価償却費	11,677
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	19,938
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6,558
受取利息及び受取配当金	△2,008
支払利息	41,204
有形固定資産売却損益 (△は益)	△222,110
売上債権の増減額 (△は増加)	137,448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△404,769
預け金の増減額 (△は増加)	△33,214
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,680
未払金の増減額 (△は減少)	△18,348
未払又は未収消費税等の増減額	△115,014
その他	△156,231
小計	△311,953
利息及び配当金の受取額	2,008
利息の支払額	△41,697
法人税等の支払額	△23,317
営業活動によるキャッシュ・フロー	△374,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△24,000
定期預金の払戻による収入	28,000
有形固定資産の取得による支出	△78,790
有形固定資産の売却による収入	340,450
無形固定資産の取得による支出	△19,893
資産除去債務の履行による支出	△45,182
差入保証金の差入による支出	△53,661
差入保証金の回収による収入	40,177
その他	△9,886
投資活動によるキャッシュ・フロー	177,214
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	381,700
長期借入れによる収入	15,000
長期借入金の返済による支出	△22,515
セール・アンド・割賦バックによる収入	56,330
リース債務の返済による支出	△5,021
長期割賦未払金の返済による支出	△2,813
新株予約権の行使による株式の発行による収入	18,246
新株予約権の発行による収入	1,611
その他	△145
財務活動によるキャッシュ・フロー	442,391
現金及び現金同等物に係る換算差額	6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	244,653
現金及び現金同等物の期首残高	479,817
現金及び現金同等物の期末残高	724,470

- (5) 連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、主に、輸入ブランドファッション商品の店舗での販売やインターネット通販による小売を行う「ファッション」事業、韓国コスメの人気ブランド『MEDIHEAL』の日本総代理店として小売法人向けの商品供給と公式インターネットサイトを運営する「美容」事業、自社物件の旧店舗を賃借物件の店舗設備等を他社に賃貸する「賃貸部門」を運営しており、それぞれ、包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、それぞれの事業部または部門による商品別、事業形態別のセグメントから構成されており、「ファッション」、「美容」、「賃貸部門」の3つを報告セグメントとしております。

また、当社は、「ファッション」、「美容」とは別に、家電商品、空調設備、太陽光発電システム、LED照明、リフォームなどの販売を手がける「外商部門」を設置しておりますが、当該部門は、売上高、セグメント利益、資産、負債その他の項目の金額に重要性がないため、現状、報告セグメントとしておりません。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度（自 2021年3月21日 至 2022年3月20日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	調整額	連結財務諸表計上額
	ファッション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
外部顧客への売上高	5,118,044	2,391,349	44,474	7,553,868	178,046	—	7,731,914
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	42,354	—	42,354	—	△42,354	—
計	5,118,044	2,433,704	44,474	7,596,223	178,046	△42,354	7,731,914
セグメント利益	88,225	462,784	32,776	583,786	14,059	△373,240	224,605
セグメント資産	1,763,792	1,070,038	429,273	3,263,103	14,858	993,443	4,271,405
その他の項目							
減価償却費	5,170	774	785	6,730	—	4,946	11,677
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	77,744	—	—	77,744	—	58,857	136,602

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△373,240千円は、セグメント間取引消去△3,593千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△369,646千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント資産の調整額993,443千円は、セグメント間取引消去△60,183千円、報告セグメントに帰属しない全社資産1,053,627千円であります。全社資産の主なものは、現金及び預金、本社機能に係る資産であります。

4. 減価償却費の調整額4,946千円は、報告セグメントに帰属しない全社費用であります。

5. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額58,857千円は、報告セグメントに帰属しない全社資産の増加額であります。

6. セグメント利益は、連結財務諸表の経常利益としております。

【関連情報】

当連結会計年度（自 2021年3月21日 至 2022年3月20日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社ビーアンドエフ	1,235,890	美容事業
マルマンH&B株式会社	870,491	美容事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当連結会計年度（自 2021年3月21日 至 2022年3月20日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度（自 2021年3月21日 至 2022年3月20日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

当連結会計年度（自 2021年3月21日 至 2022年3月20日）

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
1株当たり純資産額	501.09円
1株当たり当期純利益	239.68円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	166.35円

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (2022年3月20日)
純資産の部の合計額 (千円)	1,025,732
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	5,801
(うち新株予約権 (千円))	(5,801)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	1,019,930
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (千株)	2,035

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当連結会計年度 (自 2021年3月21日 至 2022年3月20日)
1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	485,601
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	485,601
普通株式の期中平均株式数 (千株)	2,026
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—
普通株式増加数 (千株)	893
(うち新株予約権 (千株))	(893)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	2021年6月17日取締役会決議による第9回新株予約権 新株予約権の数 480個 (普通株式 48,000株) 2021年12月10日取締役会決議による第10回新株予約権 新株予約権の数 595個 (普通株式 59,500株)

4. その他

役員の変動

役員の変動については、決定次第、開示いたします。